



現場から（最近のニュースから）

飛び出す前に



ゴールデンウィークが終わった時期には、五月病になる人が多く、最近では「退職代行サービス」を利用して辞める人も急増しているそうです。ある調査によれば、5月に心の不調を感じた経験が「ある」と答えた人は55%にのぼると言われています。この時期の不調は「適性がない」のが理由ではないので、「適応の過程」だととらえて乗り越えるように勧める記事もあります。自分の思うことと違っているのも、もっと自分にふさわしい場所があると思って、会社をやめてしまう場合もあるのでしょうか、自分が良いと思うことが、本当に事実なのでしょうか。

「タールピット・アイデア」について書いている記事がありました。タールピット・アイデアというのは、自分の考えでは素晴らしいと思う考えで、一見すると「簡単で素晴らしく、誰も試していないなんて信じられないアイデア」に見えるそうです。しかし、実際には数多くの起業家たちが同じようなアイデアを試して失敗してきたアイデアだということです。タールの池は表面がキラキラして見えることから動物にとって通常のキレイな池と見間違えやすく、大きなタールの池からは「大昔にタールの池に誤って落ちて死んだ動物の化石」が見つかることもあるということです。そのように、ほんとうに素晴らしいと思って、やってみたら失敗するアイデアのことを指して言うそうです。例として、「これまで見つけれなかった〇〇を見つけれられるサービス」の記事では挙げてありました。しかし、ほとんどの起業家はこのようなアイデアを収益化できなかったそうです。なぜなら、「これまで見つけれなかった」のは、「実際に存在していないから」だということです。

「タールピット・アイデア」を避けるためには、以前にそのアイデアを実行した人の例を調べて、それがうまくいかなかったとしたら、その理由を分析、調査すること。そして、分析、調査するときは、それをした人は愚かな人だったのではなく、非常に賢く強い意志を持っていたのに失敗したと仮定すべきだと言われています。また、需要と供給についても調査をすべきだと言われています。（4月29日 Gigazin＜多くの人が失敗しているのに魅力的なアイデアに見えてしまう「タールピット・アイデア」の特徴や回避方法とは？>より）

自分の目では、絶対に良いと思えても、実際に正確に分析、調査してみるべきだということでしょう。新しい職場で慣れないので、ほかが良いと見えても、ほんとうにそうなのか、冷静に考えて「いまは過程」であると見る目も必要だということではないでしょうか。

それでは、「何の過程」だと見れば良いのでしょうか。自分自身の存在が何で、自分はどこに向かうのかが分からなければ、どんなに分析、調査してからでも、飛び込んでみたら、そこも同じく自分とは合わないとなるかもしれません。まず、どこかに飛び出したり、飛び込んだりする前に「あなた自身」がどんな存在であり、どこに向かうのかを知る必要があります。そのために必要なことを、いっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」